

「2007年1月から2012年12月までに川崎医科大学附属病院で肺癌と診断され手術を受けた患者さんへのお知らせ」

研究課題名：「消極的縮小手術を施行した非小細胞肺癌の予後に関する検討」

当教室では、2007年1月より2012年12月までに、川崎医科大学附属病院で肺癌と診断され手術を受けた患者さんを対象とした上記の研究を計画し、倫理委員会により承認を得ました。

本研究の目的は、肺癌に対する区域切除または部分切除後の再発や予後を検討し、今後の臨床現場に役立てることです。この研究結果は、学会演題や学術論文として発表される予定です。

本研究はカルテからのデータのみを収集する観察研究であり、患者さんの個人情報を抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。また、この研究に関して、患者さんに通常の診療以外の経済的負担や身体的負担をお願いすることは一切ありません。疑問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。また、この研究に自分のデータを使用されることに「不同意とする」ことも可能ですので下記の問い合わせ先にご相談下さい。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいますが、この研究では学内研究費のみを使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。この研究に対する説明を御希望の方は、問い合わせ先まで連絡をお願いいたします。

【問い合わせ先】 川崎医科大学 呼吸器外科学 代表者：中田 昌男

電話：086-462-1111 内線 25519

FAX：086-464-1124

電子メール：[gts@med.kawasaki-m.ac.jp](mailto:gts@med.kawasaki-m.ac.jp)